

JOIN OUR CO-CREATION 共創を募る

丸井グループは、人と社会にポジティブな影響を与える「インパクト目標」を掲げてビジネスに取り組んでいます。そして、その創出のために欠かさないのは、「共創」だと考えています。丸井グループ単独ではなく、あらゆる人と共に歩み、共に創ることで、初めてより良い未来は実現できるのです。

丸井グループでは、さまざまな新規事業や新規プロジェクトが実験的に生まれています。ここでは、それぞれが描く世界観やめざす未来、それに向けた試みをご紹介します。私たちがめざす未来や想いに共感してくださった方、社会にとって価値のある「インパクト」を共に起こしませんか。

エポスカードでできる「寄付」という社会貢献、ポイント利用も可能です

貧困や飢餓、紛争、人権侵害、環境破壊など、国内外には社会課題が山積し、さまざまな団体がさまざまな支援活動を展開しています。皆さまがそうした活動を支援したいと思った時は、エポスカードでインターネット寄付ができます。ここで紹介している団体のうち「特定公益増進法人」や「認定NPO法人」などに対する、クレジットカード決済による寄付は、税控除の対象となる場合がございます。

また、エポスカードには、カードのご利用に応じて貯まるポイントサービス「エポスポイント」がありますが、そのポイントを寄付としてご使用いただくことも可能。1ポイント=1円に換算され、受付月の翌月中旬に各団体へエポスカードよ

り寄付させていただいています。その中には、ウクライナ人道危機支援も含まれています。一人でも多くの皆さまにご賛助いただけることを願っています。

注1 インターネット寄付は、Visaブランドのエポスカードが対象になります。
注2 インターネット寄付についての領収書の発行ならびに寄付金控除については、各団体のホームページをご覧ください。
注3 ポイントによる寄付は、領収書の発行ならびに寄付金控除の対象となりません。あらかじめご了承ください。
注4 エポスポイントは1ポイント=1円に換算し、500ポイント単位で寄付できます。



エポスNet：エポスカードの寄付で社会貢献

こんなにあります！ エポスカードで支援できる団体・活動

■ 子ども・教育支援

ユニセフ
世界の子どもの命と権利を守るため、最も支援の届きにくい子どもたちを最優先に活動する国連機関



ワールド・ビジョン・ジャパン
キリスト教精神に基づき世界約100カ国で開発援助・緊急人道支援・アドボカシーを行う国際 NGO



プラン・インターナショナル
子どもの権利を推進し、貧困や差別のない社会をめざす国際 NGO



セーブ・ザ・チルドレン
日本を含む世界120カ国で、子どもたちの今と未来を支える活動を行う子ども支援専門の国際 NGO



カタリバ
日本国内8.5万人の子どもたちに居場所と食事、学びの機会を届ける2001年創設の教育 NPO



徳川美術館
徳川家康の遺品を中核に1万件を超えるコレクションを有する美術館



交通遺児育英会
交通遺児たちの高校進学や大学進学などを支援する公益財団法人



日本ファンドレイジング協会
寄付文化の醸成をめざし、子ども向けの社会貢献教育などに取り組む NPO 法人



■ 人道支援・難民救済

国連 UNHCR 協会
国連の難民支援機関である UNHCR (国連難民高等弁務官事務所) の活動を支える日本の公式支援窓口



国境なき医師団
世界約70の国と地域で活動する、民間で非営利の医療・人道援助団体



日本赤十字社
災害や紛争の被災者への医療救済、応急手当の普及活動などを行う人道支援団体



国連 WFP 協会
飢餓と貧困の撲滅のため、途上国で食料支援に取り組む国連機関。国連 WFP の日本における公式支援窓口



日本救援衣料センター (JRCC)
世界各地の難民や避難民、被災者に衣料品の寄贈を行う NPO 法人



■ 環境・地域支援

WWF ジャパン
100カ国以上で生物多様性の回復や地球温暖化防止などの活動を行っている環境保全団体



国際ふるさとの森づくり協会 (レナフォ)
市民参加による自然林再生の普及・啓発を進める NPO 法人



グリーンバード
「街のそうじ」に誰でも参加できる原宿表参道発信のプロジェクト



チャンス・フォー・チルドレン
日本の経済困窮家庭の子どもたちに、学ぶ機会を提供する公益社団法人



世界の子どもにワクチンを 日本委員会 (JCVC)
開発途上国の子どもたちへワクチンを贈る NPO 法人



■ 共創社会の実現

ヘラルボニー
障がいのある方の「異彩」をさまざまな形で社会に実装し、新たな文化の創造をめざす福祉実験ユニット



プライドハウス東京
新宿で日本初の大型 LGBTQ+ センターを運営。団体・個人・企業・大使館等と協働し、情報発信などを行う企画プロジェクト



日本ブラインドサッカー協会 (JBFA)
視覚障がい者へのサッカー普及、日本代表の育成強化を行いながら、ダイバーシティ啓発を行う NPO 法人



アイメイト協会
アイメイト(盲導犬)の育成と歩行指導を通して視覚障がい者の自立を支援する公益財団法人



カードを利用するだけで自動的に支援ができる！
新たな人道支援の「エポス TOGETHER カード」

エポス TOGETHER カードは、ご利用額の0.1%分のエポスポイントをお客さまからお預かりして、国連 UNHCR 協会に毎月自動的に寄付されるカードです。クレジットカードとチャージして使えるプリペイドカードの2種類があり、いずれも日々の生活でカードをご利用いただくことで、継続的に人道支援に貢献できます。夜明けをイメージしたデザインは、難民問題解決の願いを込めています。

廃棄プラスチックのリサイクル素材を使用したカード



HERALBONY

ヘラルボニー

国内外のおもに知的障がいのある作家が描くアートを軸に、福祉を起点とした新たな文化の創造をめざす(株)ヘラルボニーとの共創の取り組み第一弾として、使うたび、社会を前進させる「ヘラルボニーカード」の利用拡大を進めています。このカードは、ご利用金額に応じた加算ポイントから、ご利用金額の0.1%分とカード新規入会1件につき1000円分が、ヘラルボニーさまを通じて、知的障がいのある作家さまの創作活動やその普及、福祉団体やギャラリー運営へ還元されます。



森澤 誠士 | SEIJI MORISAWA
2000年当社入社
(株)ムービング 事業企画部
ヘラルボニー共創チーム(2023年3月時点)

2021年開催されたビジネスコンテスト「Marui Co-Creation Pitch」にて、ヘラルボニーさまが優秀賞とオーディエンス賞をダブル受賞されたことが共創の始まりです。「すべての人が『しあわせ』を感じられる、インクルーシブで豊かな社会を共に創るサービスの実現」をめざし「ヘラルボニーカード」は生まれました。このカードは、両社のめざす世界に共感・賛同し、利用して下さる方が多く、「使うたびに、社会を少しでも前進させた気持ちになる」という声をいただいています。お金だけでなく想いが可視化されるクレジットカードをより多くの方に届けて下さるパートナーを募りたいです。



松田崇弥氏(左)と丸井グループ共創投資部の武藤夏子

「支援するという社会のあり方から脱却する」

ヘラルボニー代表取締役・松田氏との対談はコチラから

「障がいある人を支援する」という社会のあり方からの脱却を目標に、「障がいのあるアーティストの才能に依存する形のビジネスを考えた」と起業について語るヘラルボニー代表取締役の松田崇弥氏。「ただの発注・受注のコラボではなく、インパクトをつくるパートナーとして、いかに本気で取り組むかが重要」と応える丸井グループの武藤夏子。すべての人に選択肢のあるインクルーシブな社会をめざす共創のあり方について、二人が対談しました。丸井グループのオウンドメディア「この指とーまれ!」をご覧ください。



この指とーまれ!
対談:支援ではなく、ビジネス。「異彩」が社会の価値観を変える



作家: Fumie Shimaoka
題名: 「宇宙」

彼女の作品の特徴は、独特の色彩感覚でコツコツと小さなマルやセルをつなげ、好きなモノや想いを描く。当初は、モノクロの作品を描いていたが、次第にたくさん色を持ち、形を変え、欠片は増殖していき徐々に現在の作風が確立されていった。高校卒業時の色紙に彼女が記した座右の銘は、「人生予期しないことが起こるからおもしろい」。現在は、作業所に通いながら、家族と夕食を囲んだ後のテーブルで、のんびりと創作活動を楽しむ毎日過ごす。



作家: 佐々木 早苗 在籍: るんびにい美術館(岩手県)
題名: 「無題(丸)」

絵画のみならず織り物、切り紙、刺繍など、いずれも緻密で色彩と構成の妙に富むさまざまな表現を生み出し続けている。彼女は一つの仕事に数カ月から数年集中して取り組んだ後、不意にやめて別の仕事に移るのが常。2019年当時の彼女が打ち込んでいたのは、丸く切り抜いた紙をいくつもの色で同心円状に彩色し、塗り終わった紙を壁に並べて貼っていくこと。後に、その一つが「ヘラルボニーカード」のデザインとなった。



ヘラルボニーカード

MARUI CO-CREATION PITCH

スタートアップ企業との新規事業創出

ベンチャーキャピタル事業などを手がける(株)サムライインキュベートとの共同で始動した、スタートアップ企業対象の新規事業創出プログラムです。

始動年月: 2021年2月

開催目的: スタートアップ企業とのイノベーション創出

プログラム内容: 「Marui Co-Creation Pitch」は、(株)サムライインキュベートとの共同開催によりスタート。同社は、スタートアップ投資・成長支援を行うベンチャーキャピタル事業と、大手企業や自治体・行政のオープンイノベーション支援も行っています。募集メインテーマは「丸井グループのアセットを活用し、すべての人が『しあわせ』を感じられるインクルーシブで豊かな社会を共に創る協業ビジネスアイデア」です。過去3回の開催時には、多数の応募があり、受賞企業とは共創がすでに進んでいます。



審査員
中村 多伽 | TAKA NAKAMURA
株式会社 taliki 代表取締役 CEO
talikiファン代表パートナー

私は、理不尽に命を奪われたり「生まれてこなければよかった」と思うような世界に、変革をもたらすプレイヤーを応援したいという想いで「Co-Creation Pitch」に審査員として参加させていただきました。丸井グループの店舗とエポスカードを中心とした幅広いチャネルや起業家のビジョンに共感する意欲的なメンバーと出会えるこのピッチは、社会に対する解像度が高くスピード感のあるスタートアップにとって、関与人数とエリアを飛躍的に拡大する良いチャンスになると思います。社会課題を解決することは決して簡単ではなく、時には社会構造という大きな壁に立ちすくむこともあるかと思いますが、それでも、誰かを笑顔にしたいという想いで、明日も生きるのが楽しみな人が増えるきっかけを創出してくれるだろうと期待しています。



第2回イベントで優秀賞を受賞した「Sozi」さまとの協業事例はこちらから

優秀賞に輝いた4社をご紹介します!

2022年12月に開催した第3回では、53社の応募の中から登壇企業10社を選定。優秀賞4社・オーディエンス賞1社が選出されました。

(株)Gab 優秀賞

事業概要: エシカル消費を促進するSNS運用、EC・常設店舗展開

受賞理由

「将来世代×サステナブル」という、丸井グループがめざす未来ど真ん中に取り組んでいる。すでに有楽町マルイでの協業も進んでおり、めざす方向がまさに一致している。

(株)カマン 優秀賞

事業概要: リユース容器の飲食店間シェアリングサービスの提供

受賞理由

リサイクルやリユースにはまだ課題がたくさんあるため、その課題を乗り越えた先でゴミのない社会を生み出してほしい。リユースの社会実装へ強い期待を込めて。

Suishow(株) 優秀賞

事業概要: NFTマーケットプレイスやメタバース空間開発事業の展開

受賞理由

協業のアイデアもさることながら、CEOの「これからの担う若い感覚」「極力家から出ず、ネットで買い物をしたい」という本音に、共感の声と期待が集まった。

LINDA PESA(株) 優秀賞・オーディエンス賞

事業概要: “信用”を“情報”として見える化することによる、アフリカ中小ビジネスの不透明性を解消する金融インフラの構築

受賞理由

「日本を代表する会社をぜひアフリカでつくってほしい」との声が上がった。一般社員投票では圧倒的1位。オーディエンス賞とのダブル受賞。



優秀賞を受賞した4社のメンバーを中心にした記念撮影